

須知高校生のみなさんへ

令和4年度 第3学期終業式 式辞

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、みなさんの感染防止対策のお陰で、予定していた学校行事等が実施できました。みなさんの協力に感謝しています。ありがとうございました。

みなさんは今年度の1年間を振り返り、学習や部活動、学校行事などで楽しい思い出や良い結果を出すことができた人もいれば、なかなか結果が出ず、悔しい思いをした人もいます。明日から始まる春休みは、自分自身で今年度1年間の成果と課題を整理して、次の学年に繋げる準備期間にして欲しいと思います。

さて、終業式にあたり、みなさんには、「自己決定」についての話をしたいと思います。神戸大学社会システムイノベーションセンターの西村和雄特命教授と同志社大学経済学研究科の八木^{ただし}匡教授は、日本国内の2万人に対するアンケート調査をもとに、「所得」「学歴」「自己決定」「健康」「人間関係」の5つの項目と、幸福感とのかかわり合いを分析されました。「自己決定」の評価については、自分の意思で進学や就職(中学→高校への進学、高校→大学への進学、初めての就職)を決めたか否かによって行われました。その結果、「健康」、「人間関係」に次いで、「自己決定」が幸福感に強い影響を与えていることがわかりました。つまり、「所得」や「学歴」が高いより、「自己決定度」が高いほうが、幸福感が高くなる結果になりました。この結果を受け、神戸大学社会システムイノベーションセンターは「自己決定によって進路を決定した者は、自らの判断で努力することで目的を達成する可能性が高くなり、また、成果に対しても責任と誇りを持ちやすくなることから、達成感や自尊心により幸福感が高まることにつながっていると考えられる。」という見解を述べられています。

みなさんも今後、高校生活を送っていく中で必ず自己決定していく場面があると思います。自己決定する場面で迷ったら自分から積極的に家族や友人をはじめ、先生方にも相談してください。どんな小さなことからでも良いので、積極的に自己決定を行い、自分で選択することを繰り返して、小さな達成感や成功体験を蓄積すれば、何事にも自発的に思考し、自らの判断力が養えると思います。私たち教職員もみなさんから自己決定する際に相談があれば、「何か支援できることはある？」と一緒に考えてきたいと思っています。

結びにあたり、新型コロナウイルス感染症対策のマスクの着用についても個人の判断となりますので、より一層、様々な場面で自己決定することが多くなると思いますが、基本的な感染防止をしながら有意義な春休みを過ごしてください。

4月の始業式では、元気な姿で再会できることを楽しみにしています。

以上で3学期終業式の式辞とします。

令和5年3月20日

須知高校 校長 湯川 佳秀